衣川地区振興会だより

新春特別号

編集・発行：衣川地区振興会　TEL/FAX 52-3426

令和7年1月9日発行

～健康で穏やかな一年でありますように～

衣川地区振興会
会長　高橋　厚

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、願いや決意をもって新しい年を迎えられたことと思います。今年は巳年です。巳といえば思い出します。

かやぶき屋根の時代、祖父母と囲炉裏を囲んでいると、天井から蛇がボタッと落ちてくることがありました。「家の守り神だから殺しては罰が当たるぞ」と、祖母からよく言われたものです。「蛇が棲みつくと家運が栄える」という言い伝えがあったからだと思います。

また、蛇は金運と関係があると言われています。よって、特にも大事に！大事に！です（笑）

さて、今年度も皆様のご理解とご協力をいただきながら、地域の活性化を図るべく諸事業を進めてまいりました。

地域の皆様の命を守るため、各行政区と一体となった防災訓練や救急救命講習は勿論のこと、地区センターが一時避難所となっていることから、避難時に必要な保存食や各種防災用品の購入も併せて行ってきました。

防災といえば、能登半島を中心とした地震で道路・家屋・水田等々、大規模な被害が発生しました。

時期を同じくして、小野寺精一さん（古戸）が、菅原峯治さん（大森）と佐々木秀康さん（六道）の協力を得て「米づくり80・8（はちじゅうや）たび」の冊子を書きあげました。

これは、多くの方々に読んでいただきたいという思いから、地区振興会で印刷・発行をさせていただき、印刷経費を除いた20万円を、石川県輪島市の「白米千枚田景勝保存協議会」へ寄付しました。

また、職員手作りのこの冊子３００冊は、12月上旬に完売しました。

衣川地区センターに人を呼び込む方策が何かないかと始まったのが「ミニ展示会」です。今年度も実施し、那須川重廣「陶芸・絵画展」、達下才子と教え子たちの「写真展」、相澤征雄さんご夫妻による「和紙作品の数々と永生庵30年の記録展」、髙橋静枝「ほのぼの人形展」と、県内外から合わせて１，５００人近くの方々が衣川地区センターを訪れてくれました。２月から３月上旬にかけては「吊るし飾りとおひなさま祭り」が開催されます。是非ご覧ください。

他に、「健康講座」「役員防災研修」「衣川の歴史と自然探訪」「生涯学習講座」、今回で９年目となる「イルミネーション事業」など、地域の皆様の要望を聞きながら、そして、地域の活力が生まれるよう、今後とも努力を重ねていきます。

終わりに、昨年から衣川中学校の生徒たちによる「地域再生プロジェクト事業」に衣川地区振興会も関わってきました。

「木の香り公園看板製作」「手作りベンチの製作」「一首坂史跡公園の清掃、花の植栽と歴史講談開催」などを大人の指導の下実施してきたものです。

人口減少に悩む衣川にとって、こうした地域と学校、中学生との関係を強めていくことが、中学生が将来、「衣川に帰ってきます」につながると思っています。

新年、皆さまにとって素晴らしい年となりますことを願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。

古戸交差点のイルミネーション